

令和4年度取組状況

ものづくり工学科

医療福祉工学コース

助教 後藤和彦

取組状況

教育	<p>1. W3電気回路Ⅱで問題演習に重点を置いた授業コンテンツ作成 内容の要点を説明するスライドと反復練習を行うための演習問題を用意した。要点を絞って練習を繰り返すことで方法の定着を図ることができた。</p> <p>2. ゼミナール指導方法の検討 一つのテーマを設定して論文調査、実験計画の作成から実施、データ解析、プレゼンテーションの研究活動の流れを行うコンテンツを作成した。</p>
研究	<p>1. 視覚誘発電位による自己運動知覚に関連する脳活動の時空間特性の検討 自己運動に一致する両眼視差とオプティックフローを組み合わせた視覚刺激に対する視覚誘発電位を記録し、sLORETA法を用いて活動領域の時空間特性を検討した。この内容について第52回日本臨床神経生理学会学術大会で発表を行い、優秀演題賞を受賞した。</p> <p>2. 視覚誘発電位解析支援システムの開発 視覚刺激呈示時の脳波から視覚誘発電位以外のノイズを除去する方法として、EMD法が利用できるか検討を行う。この方法の妥当性を視覚刺激呈示の脳波を模擬したシミュレーションデータと実データを用いて検証した。</p>
社会貢献	<p>1. 出前授業、模擬授業のコンテンツについて内容を調査、検討を行う。</p>